

平成27年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市山の下海浜公園プール		
管理者名	公益財団法人新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
担当課	東区地域課		
所在地	新潟市東区船江町1丁目5番1号		
根拠法令	都市公園法		
設置条例	新潟市都市公園条例		
施設概要	山の下海浜公園（敷地面積 3, 6 ha）内 プール主要施設 造波プール 1, 060 m ² 遊泳プール（25 mプール、幼児用プール含む） 842 m ² プール管理棟 鉄筋コンクリート造2階建 558.45 m ² トイレ棟 鉄筋コンクリート造平屋 59.66 m ²		

施設設置目的
<p>新潟空港拡張整備事業に伴い、緩衝緑地機能を有するとともに海水浴場を一体的に利用ができて地域住民のスポーツ・レクリエーションの場となり健全で安全な生活環境の形成に寄与することをめざして設置された公園内に、大人と子供が一緒に楽しめる遊泳やレクリエーション等の利用に供するプール施設を設置する。</p>
管理・運営に関する基本理念，方針等
<p>(1)新潟市都市公園条例に基づいて、市民のスポーツ・レクリエーションの場として、健全で安全な生活環境の形成に寄与する管理運営を行う</p> <p>(2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用が確保すること。</p> <p>(3)利用者アンケート等により利用者のニーズの把握に努め、利用者満足を図る取組等に活用する。</p> <p>(4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供する。</p> <p>(5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。</p> <p>(6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努める。</p> <p>(7)各種法令・指針や新潟市の各種条例及び業務仕様書等に基づいて、公の施設に相応しい適正な管理運営を行う。</p> <p>(8)指定管理者制度を理解し、実践する。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	ホームページに施設の情報及びブログを月1回以上更新	・HP更新月1回以上 ・NHK新潟の取材	A	HP更新月1回以上 マスコミの取材があった
	基準者数の達成	プール利用者2.7万人以上	20,099人	C	8月利用が伸び悩む。7月の利用は、H26比106%
	各種サービス別満足度	・アンケートで「満足」が60%以上 ・利用者の声で苦情が5割以下	利用者アンケート実施 「満足」以上が70%	A	利用者アンケート「満足」以上が70%であった。
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には14日以内に回答 ・苦情対応マニュアル整備、実践	苦情対応マニュアルを整備	A	苦情等への対応を適切に行った
財 務	利用者1人あたりのコスト削減額	過去3年間の施設平均値より1%以上削減	27年度 597円 24-26年平均535円	C	目標不達成であったが、前年に比べ削減できた
	管理運営経費の削減	省エネ及び環境に配慮した取り組みの実施	・照明の間引き ・コピー用紙裏紙利用	B	適切に実施
	使用料収入の達成	使用料収入(免除料金含む)が年間3,750千円以上	3,012,480円	C	目標不達成であったが、H26比106%であった
業 務	業務基準書等に定める事項の遵守	その他業務基準書等に定める事項の遵守	基準書に添って遵守	B	適切に遵守
	人員計画の合理性妥当性	業務基準書の人員確保	業務基準書に定める人員配置を確保	B	適切に実施
	日常連絡の適切さ	・事故報告は発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・各種報告書の提出期限厳守	・事故、クレームは速やかに報告 ・質問等の締切厳守	B	適切に実施
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	業務改善指導の締切厳守	改善勧告なし	A	適切に実施
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・安全責任者の配置 ・警察や消防等への連絡体制の整備と実践 ・事件、事故等対応訓練 講習を年1回以上実施	防火管理者を配し、消防訓練を実施(6/28・7/27)	A	あらゆる事柄を想定した連絡体制を確保し、適切に実施
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修年1回以上	公社内研修の受講者が伝達講習を行う	A	適切に実施
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・利用者の安全確保のためのマニュアル等の整備、実施 ・補償を伴う事故発生件数0件 ・心臓停止事故件数の90%以上にAEDを使用	・危機管理マニュアルの整備 ・補償を伴う事故なし ・心臓停止事故なし	A	適切な監視体制をとり、事故発生なしとなった
人 材	配置人員条件の充足	・業務に必要な資格や専門知識、経験を有する職員配置 ・普通救命講習の修了者配置	基準書等に定める以上の必要な資格や経験を有する職員を配置	A	有資格者、経験者を確保し配置した
	配置人員の知識やスキルの習得度	・担当者全員参加によるプール救助訓練を年2回以上実施 ・上記を含む職員研修の受講	水難救助訓練を2回以上実施	A	適切に運営されている
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	該当する問題なし	A	適切に遵守

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

施設的环境を整えていった結果、利用者数、教室参加者、使用料収入は達成できた。財務面に置いて今後は管理運営経費を見直していく必要がある。業務・人材面においてはあらゆるトラブルを想定して各種マニュアルの整備や研修を開催した。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

利用者数は、前年を上回る状況で回復傾向であったが、最盛期にあたる8月の利用者数、使用料収入が伸び悩んだ。そのような中でも、利用者の安全管理、衛生管理等に努めるとともに、利用者への適切な対応等指定管理者として良好であると評価される。また、日常連絡をはじめ、市への報告は適切に行われているが、今後も市との連携を密に図るよう努め、施設の運営に創意工夫を期待するものである。